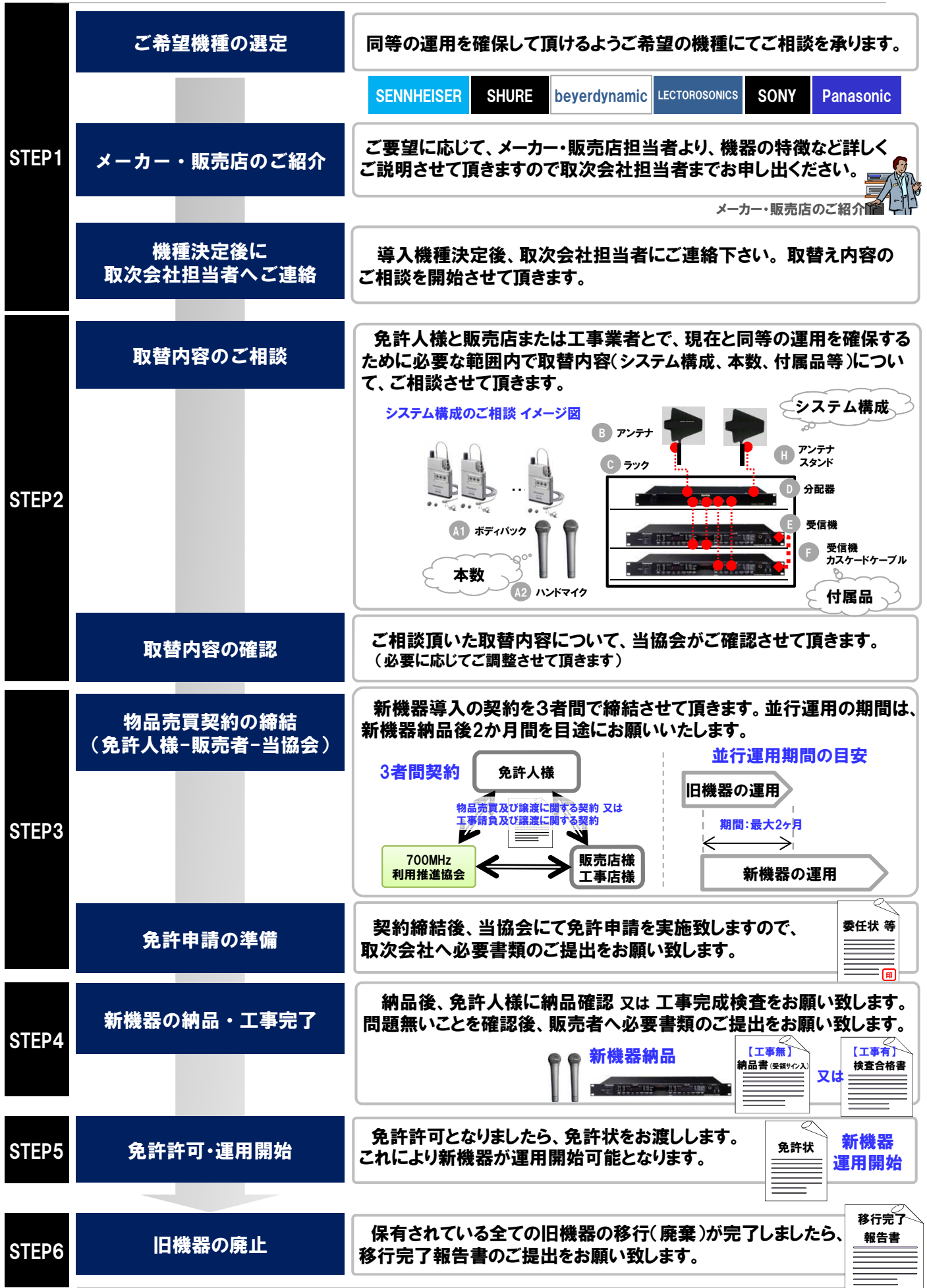
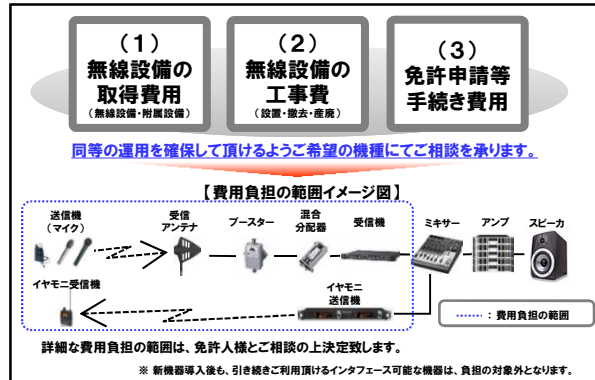


## ● 新機器導入のご案内（お手続きの流れ） ●



# ● 新機器導入のご案内（費用負担の範囲） ●

## 《基本的な費用負担の範囲》



## 《各機器における費用負担 詳細》

### 【送信機】

- 送信機1台を動作させるために必要な附属機器（マイクヘッド、ラベリアマイク、専用充電機、風防、マイクホルダー等）は基本セットとして新品を負担致します。
- なお、WS帯を複数本で可搬運用するための追加送信機は、「送信機のみ」の負担となります。（マイクヘッドや充電機、バッテリーケースなど周波数に依存しない附属機器については、移行前の1本に対して1組のみのお渡しとなります。）
- 送信機附属機器予備品（送信機1台にセットとなる附属機器とは別に予備で保有している附属機器）については、新機器とインターフェース可能でない場合に新たな附属機器予備品を負担致します。
- 送信機数量は、現在保有機器と同数量を負担致します。ただし、可搬運用でWS帯機器をお選び頂いた場合、同等運用が可能となるよう、WS帯各帯域のカバーに必要な送信機本数を負担致します。

運用形態	選定機種種の周波数帯	新機器ご負担本数	
①固定型	1.2GHz帯またはWS帯	旧機器1本に対し新機器1本	
②可搬型	1.2GHz帯	旧機器1本に対し新機器1本	
	WS帯	旧機器1本に対し新機器必要本数（同一機種） （複数本のご提供は、WS周波数帯を分割してカバーする機種に限りませ ※対応する受信機も帯域毎に分割される場合、上記と同様となります	1本で運用可能：1本 複数本必要：複数本
③移動型	1.2GHz帯	旧機器1本に対し新機器1本	

### 【受信機】

- 現行と同受信チャンネル数分の受信機を負担致します。台数は現行台数以下とさせていただきますが、例として8CH受信機1台を2CH受信機4台に交換する等の場合は受信機台数増加も可能です。

### 【アンテナ、ブースタ等】

- 現行のカバーエリアと同等のカバーが可能となるアンテナ本数を負担致します。
  - ホワイトスペース帯は移行前よりも周波数が低く電波伝搬特性は同等以上となることから、原則、移行前と同じ本数の負担となります。
  - 1.2GHz帯は、反射による伝搬が期待できる反面、直進性が高くなる等の電波伝搬特性が異なるため、移行前と同数量のアンテナでカバー出来ない場合には、必要な本数を負担致します。

### 【アンテナケーブル・混合分配器・電源分配器・ケース・可搬型ラック】

- インターフェースが合致せず継続利用不可の場合、新品を負担致します。ただし、新旧機器の平行運用を行う場合は、インターフェース可能な場合も必要な程度の新品をご用意致します。

### 【音声出力ケーブル（受信機→ミキサー・アンプまで）】

- 現行と移行後のアナログ/デジタル種別が異なる場合に負担致します。移行後受信機に現行と同種別出力が具備されている場合、負担の対象外となります。（例：現行アナログOUTのみ⇒移行後アナログOUT/デジタルOUT両方具備の場合、現在ご利用のアナログケーブルを継続利用可能）

## 《Q&A》

- Q1 ホワイトスペース（以下WS）での運用を考えているが、選定機種はWS全域をカバーする送信機が無く、WS帯が3分割となっている。日本全国で運用が必要のため、現行マイク1本に対してWS全域をカバーできる3本を負担してもらいたい。
- A1 WS機種を選定された場合、可搬運用の移動範囲の施設・場所等が1本のWS機器でカバーできない周波数の場合、同等運用確保のためWS複数本をご負担致します。
- Q2 WSチャンネルリスト以外の場所でも突発で運用する必要があるため、WS機種に加えて1.2GHz帯機器も負担してもらいたい。
- A2 現行マイク1本に対して新マイク1機種のご負担が原則となります。1.2GHz帯機器も必要な場合には、現在保有されている現行機器の数量の中でのご対応をお願い致します。（例：現行マイク50本→新マイク30本WS+新マイク20本1.2G）